

2010年

5月19日（水曜日） 豊かな水が創るまち - 日本水道協会京都府支部総会 -

本日、日本水道協会京都府支部の第55回総会が本市で開催されました。心から歓迎しますとともに、関係者の皆さんの水道の普及、発展への日ごろからのご努力に敬意を申し上げます。

本市は、全海岸線が山陰海岸国立公園と丹後天橋立大江山国定公園に指定される景勝の地であるとともに、全市域が地球の時代の中で日本海が形成された過程での多様な地殻変動や水の浸食作用等で形成された山陰海岸ジオパークに指定されています。また、山間部には北近畿最大級のブナ林があり、肥沃な農地から丹後米はじめ高品質な農産物も育つなど、大変豊かな景観と自然環境に恵まれたまちであります。

本市の各分野にわたる豊かな環境と風土を生み出した共通の源こそが、私は、日本海を渡ってくる豊かな「京丹後の水、水の豊かさ、質の高い素晴らしさ」ではないかととても誇りに思っています。景観や土壌はもとより、水は、万物を洗い清め、万物を育みます。男性日本最長寿の木村さんはじめ百歳長寿の皆さんがとてもたくさんおられるのも、ひょっとしたら環境や食、健康に影響を与える当地の「水」の素晴らしさが背景にあるのではないかと。

本市の天然のおいしい水とともに、本市では、1上水道、32簡易水道、8簡易給水施設により飲料水供給を支えていただいておりますが、今後とも、安定的な水の確保のため国庫助成が可能な平成28年度までの間を中心に積極的な統合整備を進めていきたいと思っております。

水は普段は特に自己主張もせず身近に存在しますが、豊かな水の天恵に改めて感謝し、併せて治水も含めて水の大切さを広く見つめ直しながら、今後とも豊かな水をますます活かしたまち創りを進めていきたいと思っております。